

2019年9月4日

## 情報活用研究部会 2019年度研究会

2019/8/24（土）熊本市内にて情報活用研究部会 2019年度研究会を開催しました。各メンバーの研究発表があり、翌日は震災被害の熊本城と益城町の断層ずれを見学しました。こうして熊本震災の跡地を見学し、その被害の大きさを知り改めて大震災恐ろしさを知りました。各位の研究発表内容も益々充実してきました。ダイバーシティを配慮した多様な分野で応用できる研究成果でした。来年度は佐賀県で定例研究会を予定しております。

【場所】熊本市民会館（第8会議室） 13:00～17:00

【内容】

13:10-13:30	「eスポーツが生み出す新たな可能性」	大川 敦 （株）ハートソフトウェア
13:30-13:50	「W3C 勧告と FIDO2」	村上 恒夫 （株）ソフト技研
13:50-14:10	「社会インフラと IT」	小笠原 裕 日立製作所
14:10-14:25	休憩	
14:25-14:45	「AIはこれからの社会をどのように変えるのか～AIの基礎－AIは今までの“機械”と何が違うのか～」	稲田 照幸 熊本工業専門学校 教員
14:45-15:05	「日本における「ケアリング」研究の動向と課題－看護・社会背景からの検討」	柿原加代子 四日市看護医療大学 教授
15:05-15:25	「AIと共存するために必要な人間のスキル」	草野 純子 四日市看護医療大学 准教授
15:25-15:40	休憩	
15:40-16:00	「正しい地区防災計画のすすめ方」	坊農 豊彦 大阪市立大学 都市防災教育研究センター 特別研究員
16:00-16:20	「熊本地震を経験して考える情報とその活用」	松里 健一 熊本市民
16:20-16:40	「ロシアのサイバーセキュリティが核戦略に及ぼす影響」	佐々木 孝博 広島大学・東海大学 客員教授



2019/8/24 (土) 研究会の様子



2019/8/25 (日) 震災跡見学の様子